



北 中 だ よ り

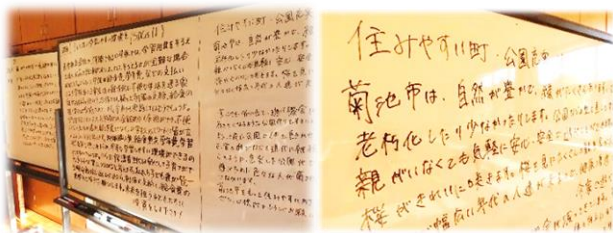
学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより No8
文責 芹川博文
5月31日(金)

「今を見つめて 未来を言葉に」 ～ 子どもサミット準備の姿から ～

ホワイトボードにびっしりと書かれた生徒たちの思い。これは、子ども議会に向けて生徒たちが書いた「提案文書」の原案です。放課後、原案の発表を聞きながら、菊池市に対する熱い思いが伝わってきました。

体育大会が終わるとともに、次の動きをはじめた生徒たち。中間テスト、中体連、生徒総会……。目標に向かって磨き合う毎日です。



「あっという間の早わざに感謝」 ～ PTA 会長と副会長が日よけ網設置 ～

「ランチルームの日よけ網が外れているので、長い梯子(はしご)が要るんですが」と伝え、菊川PTA 会長は「ありますよ。今から持ってきます」と、山口副会長にも連絡を取られ、お二人の「早わざ」で、あっという間に復元されました。その迅速な動きに「プロわざ」を感じると共に、学校に対する思いの強さが沁みました。給食時間のランチルームの室温が変わることでしょう。ありがとうございました。



「よか根のできた」「次は水やりで根腐れを起こさないこと」 ～ 菊づくり達人に来ていただき、2年生が「ポット上げ」～

「今年の根はバッチリ」と、菊づくりの「達人」のお二人の言葉。菊池市菊花同好会の後藤会長と村上副会長に来ていただき、2年生の技術の時間に、挿し芽をポットに移す作業「ポット上げ」を行いました。

話によると、今後一番気を付けるのは「水のかけすぎによる根腐れ」とのこと。私もこれまで何度も枯らしたことがあります。良かれと思って与えすぎると、かえって逆効果・・・加減が大切です。植物によっても大きく違います。校長室の観葉植物(左上の写真)は、この時期はまだ必要ないとのアドバイスに従って4月から一度も水をやっていません。おかげで生き生きしています。植物の持つ力(潜在能力)をいかに引き出すか。水やり一つにも奥深さを感じます。



「ようこそ先輩」 ～ 教育実習生の姿から受ける刺激 ～

授業内外で生徒たちと沢山関わって、「保健体育の授業を早く受けて！楽しみ！」と思ってもらえるように頑張ります！

上は、母校北中で今週から教育実習で来校している 清田 飛羽 実習生の言葉です。第1回小中合同体育大会の団長の経験や、数学の教師を目指して理数科に進学後、体育教師への思いが勝り、現在に至ることなど、「先輩」の姿から

実習日誌を書く清田実習生



「パレット自体がアート」 ～ 美術の釘本先生のパレットから ～

「赤、青、黄、この3つ色から白以外の様々な色がつくれます。」1年生美術での釘本先生の言葉です。その後、見せられたご自身のパレットは、それ自体が作品の様に綺麗でした。10年くらい洗わずに使用されているとのこと。生徒会テーマ「My color」を思い出しました。

